

今年には北欧を代表する二人の作曲家：シベリウス没後50周年、グリーグ没後100周年に当たります。それに因んだプログラムを、と気負ったわけではなく、たまたまレパートリーの中から“是非に聴いて頂きたい”と選んだ、私の大好きな曲の数々が今日のプログラムとなりました。それにしてもタイミンズの良いこと！

19世紀初頭に起こった文学上のロマン主義の動きは、音楽の世界に於いてはシューマンやブラームスたちにより、ドイツ・ロマン派として大きく発展しました。しかし、19世紀後半になると、ロマン派の動きにも行き詰まりが感じられるようになり、新しさを求める〈民族主義的運動〉が芽生えてきます。丁度その頃に生きた、ノルウェーのグリーグ、フィンランドのシベリウスたちはライプツィヒやウイーンに学び、ドイツ・ロマン派の影響を大きく受けたものの、後には自国の国民主義に目覚め、民謡や伝承抒情詩などを題材に独自の音楽世界を切り拓いていきました。（これは余談になりますが、グリーグのお祖父さんはスウェーデンからノルウェーに移住。本来の姓：グレイグ Greig をノルウェーの発音に合わせて Grieg と改名したのだとか・・・）

今日上げるシベリウス、ニールセン(デンマーク)、スヴェンセン(ノルウェー)、そしてグリーグの音楽には、それぞれの個性と民族性が克明に出ており、〈北欧〉という“ひと束ね”は大まか過ぎるかと思いますが、透明感に満ちた、凍て付くような空気と、大自然の描写に、すっきり捕り込まれてしまいました。

ゲストの柳原良平さんの新作〈切り絵〉をご覧になりながら、“北欧の薫り”を満喫して頂けたら嬉しく存じます。

毎回のことながら、このコンサート実現のために本当に多くの方々や友人たちの多大なご協力、温かいお力添えをいただきました。実行委員として参画してくださった私の大切な友人たち、コンサートの現場を支えてくださっているスタッフの方々、そしてご来場の皆様にご心より御礼申し上げます。

大津 純子



Guest

### ヴァイオリニスト 大津 純子 (おおつ・じゆんこ)

東京芸術大学、米国ジュリアート音楽院卒業後、NYを拠点に演奏活動を開始。ジュネス・ミュージカル・インターナショナル、およびカーネギー・ホール両者による招待にてニューヨーク・デビュー。セントルイス交響楽団、シモン・ボリバル・フェスティバル国立オーケストラ他との協演、リサイタル・プログラム〈The Artistry of Junko Ohtsu〉のバリアリクTVネットワークによる全米30都市以上への放映、また、米国でのラジオ放送出演も数多い。ロッキングエラー三世財団より2年間に亘り特別グラント受賞。国際交流基金派遣にて、ロシア、チェコ、オーストラリアなど、欧州、アジア、中南米諸国にて公演し、絶賛される。これまでに『ヴァイオリンの詩』、『アメリカ』(1998年)、『ユード芸術誌』(室内楽推進雑誌)に選出、『Prelude to a Kiss』など5枚のCDをリリース。近年は、執筆・講演などの分野にも活動の範囲を広げている。

2002年、自ら企画・プロデュースする室内楽シリーズ『Good Old Days: アメリカの〈業敵な時代〉』をスタート。日本のクラシック音楽シーンの盲点であった“知られざるアメリカ”にスポットを当てた意欲的な好企画として大きな注目を集める。2004年より、イラストレーター・和田誠、ジャズビバニスト・佐藤允彦と共にジャンルを超えて音楽を楽しむという意図のもと、『Junko and the Night and the Music』シリーズを開始。3人の異なるバックグラウンドを活かしたユニークな企画は大好評を得ている。



### イラストレーター・画家・漫画家 柳原良平 (やなぎはら・りょうへい)

1931年、東京生まれ。京都市立美術大学工芸学部(現・京都市立芸術大学)卒業。1954年、寿屋(現・サンポート)本社宣伝部意匠課入社。同期入社の高健(のちの直木賞作家)と組んで、毎月20本近いトリラスウイスキー、赤玉ポートワイン等の新聞広告を制作。1958年、テレビコマーシャルのための主人公「フンクル・トリス」が、柳原良平、開高健、酒井隆雄の三名によるアイデアで作られた。1959年、毎日産業界サイン賞受賞。同年に寿屋を退社し、フリーとして活動開始。1960年、漫画家・久里洋二、画家・真鍋博と「アニメーション3人の会」結成。実験的なアニメーション上映会を開く。1961年、山口瞳(のちの直木賞作家)のコピー“トリスを飲んでハバナに行こう!”の広告が大ヒットし、フンクル・トリス又は国民的人気キャラクターとなった。1990年、運輸省交通文化賞受賞。現在、横浜市在住。



### ピアニスト 岡田 知子 (おかだ・ともこ)

東京芸術大学器楽科を卒業後、北西ドイツ音楽アカデミー・ゾトモルトに留学。音楽の伴奏と器楽アンサンブルを学び、同校を首席で卒業。1977年1月、ベルリン・メンデルスゾーン・コンクェール・ピアニスト部門第1位入賞。同年10月、ジュネーブ国際音楽コンクェール・ピアニスト部門第2位(1位空席)およびスイス特別賞受賞。現在、アンサンブル・ピアニストとして内外演奏家との共演、CD録音、コンサート・プロデュースなど、多方面に活発な活動を続けている。

